



令和6年度 長崎市立鳴見台小学校 学校だより

はばたき

学校教育目標 自ら学び 心豊かで 健やかな子ども

令和7年3月18日

第42号

校長 古本 龍夫

はばたきの三十周年を中心に担いし子らの卒業する朝

本日、第35回卒業証書授与式を行いました。雨が降る中ではありましたが、とても素敵な卒業式となりました。6年生がこれまで、頑張って取り組んできたことが走馬灯のようによみがえってきました。あいさつ運動、歓迎遠足、運動会、プール掃除、小体会、修学旅行、はばたき感謝祭・・・すべてにおいて鳴見台小学校のリーダーとして60人が協力してやってきました。卒業生の前途に幸多からんことを祈ります。ご臨席賜りました来賓の皆様、保護者の皆様ありがとうございました。

卒業式練習風景

3月17日、卒業式の前日の練習風景です。6年生の卒業式練習も真剣に最終確認を行っていました。当日は、きっとすばらしい式になると思います。



第35回卒業証書授与式

はなむけの言葉 ～抜粋～

(前略) そのような時代を生き抜くみなさんに、私の座右の銘を話し、「はなむけ」とします。それは、「感謝は力」ということです。卒業生一人一人に夢があり、素晴らしい将来の夢、就きたい職業があると思います。その夢に向かってはばたいていくと思います。やがてみなさんは、将来職に就き、自分の得意分野や才能を生かし、社会貢献をする人になっていくと思います。様々な人と出会い、中学校、高校、大学と進み、社会人となっていくと思います。これからのみなさんの人生の中で、様々な役割や立場でいろんなことをお願いされたいと思います。その時々で、ぜひ前向きに受け止めて、周囲の人から頼まれたり、お願いされたりすることは、感謝の気持ちをもって引き受けてほしいのです。そのことで、人生は豊かになっていきます。嫌々引き受けると、不平不満が出てきます。なぜ、自分がしないといけないのか、他の誰かがやればいいじゃないか。など責任逃れや後ろ向きな態度になってしまいます。ありがとうの気持ちで受け入れると前向きになって、力が湧いてくるんです。みなさんもそうあってほしいと思います。当たり前は、当たり前じゃない。目の前で起こるすべてのできごとや状況は、あなたにとって今すべき大切なことだと受け止め取り組んでほしいのです。さらに、目の前のできごとが、偶然ではなく、必然と捉えろと力が湧いてくるものです。たまたまだけけど、それは、自分にとって必要なことだと捉えることは、大切なことです。「感謝は力」ありがとうは、パワーになる。校長先生にとって一番大事にしているメッセージを私が校長を務める最後の卒業生に贈りたいと思います。「感謝は力」です。ぜひ、覚えていてほしいと思います。(後略)



卒業生入場



卒業証書授与



校長式辞



育友会会長祝辞



旅立ちの言葉



旅立ちの言葉

3月・4月の主な行事予定

20日(木)春分の日
24日(月)修了式・離任式
(4月)
7日(月)着任式・1学期始業式
8日(火)三重中入学式
9日(水)入学式・1年懇談会
10日(木)4・5・6年懇談会
11日(金)2・3年懇談会
16日(水)1年給食開始
17日(木)全国・県・市学力調査
18日(金)歓迎集会・遠足
25日(金)授業参観・育友会総会

第6回草野仁科学賞受賞

3月15日(土)に長崎市科学館で「第6回草野仁科学賞」において、本校4年生が長崎市科学館賞を受賞しました。本当に素晴らしいことです教室で表彰しました。



ご卒業おめでとうございます！

